

表紙

# 令和3年度 推薦入試 小論文

## 注意事項

1. この試験問題(小論文)は学校教育課程障害児教育コース受験者用です。
2. 試験開始の合図があったらすぐに用紙の種類と枚数を確かめた上で、受験番号記入欄の全てに受験番号を記入してください。

表紙 ..... 1枚

問題並びに答案用紙 ..... 3枚

3. 試験終了後、全ての用紙を回収します。
4. 用紙が不足していた時や、印刷が不鮮明な時には手を挙げて監督者に知らせてください。

この用紙(表紙)の裏面を「メモ用紙(構想用)」として使用しても構いません。

総計

問題並びに答案用紙 (1 / 3)

問 以下の文章(コラム)を読んで、あとの問いに答えなさい。

人は自分の思いを手本のない自分の言葉で話すしかない。

ここは大学ですから、会話の授業はやりませんよ。(ある仏文科のフランス人講師)

評論家の加藤典洋が大学時代に受けた仏語作文の授業で、フランス帰りの受講生が、日本文学の翻訳よりもっと実地的な日常会話や作文をやったほうがいいと発言した。講師は、親しい友人を亡くした時に正しい挨拶ってある？と返し、こう続けた。表現の真の力と困難を学ぶのが大学という所。加藤の随想集『大きな字で書くこと』から。

出典)朝日新聞2020年10月11日付け朝刊「折々のことば:1961 鷲田清一」より ※一部改変あり。



